

田原市議会傍聴記

⑤

地方政治 クリエイト 伊藤 秀昭

続けるための最優先課題であること強調した。

河邊正男氏(共産)は子どもの貧困率は16・3%で過去最悪となっているとし、教育現場に貧困と格差を持ち込ませない大きな意義があるとして給食費無料化を訴えた。

教育部長は「経済的援助を必要とする児童生徒の保護者には就学援助費や生活保護制度があることなどから実施する考えはない」とした。河邊氏は教育にお金がかかりすぎていることや、非正

規労働者が増えていることなどから、さらには出生率向上、人口減少の歯止めの角度から給食費無料化を要請したが、いずれも説得

の豊川用水二期事業に加えて大規模地震対策として追加工事を行うため、計画変更を予定していることも明かし、これによる地元農家からの

連携した新たな観光資源の可能性について、基礎的なマーケ

第9次交通安全計画が策定され、本年度が最終計画年度を迎えて、過去2年間

平松氏は田原市で

18年前の8月、当

所で、降雨時に道路冠水が見られることから、その対応策について聞いた。

杉浦氏は市民からの指摘で受ける冠水箇所について、縷々

現地調査を行った結果、

辺の観光基盤整備について質問した。

政策推進部長は蒲郡市が公開している

冠水箇所について、

現地調査を行った結果、

地盤沈下の観光に決め手はないのか



◇

古川美栄氏(自民)は通水以来、豊川用水の持続的な利用や農業都市基盤整備について質問し、田原市が農業の先進地であり

力に欠けた。負担は求めないとし

た。テイリング調査を実施すること、3000人を超える外国人宿泊客対応の取り組みを拡充することなどを明らかにした。

小川貴夫氏(自民)は「地元産業を元気に」を標榜する山下市長が「伊良湖周辺を中心に入れ込んでいく」としている。田原市議会に傍聴に通つて5年。毎回

のように、「観光振興」について聞かされるが「検討」、「調

小川貴夫氏が「渥美半島創生は勇気と決断と実行の時である」と指摘していたが、伊勢志摩サミット、東京オリンピック・パラリンピックの地域間競争は始まっている。のんびり構えている時ではない。